



人間が学ぶために使う言語を「学習言語」と言います。
この学習言語について科学しています。
日常生活でのコミュニケーションの言語は生活言語と言います。

略歴

プラントメーカーでのシステム設計などの経験後、企業内研修、外国語教育の教師トレーナー、地域の日本語ボランティア育成機関・介護福祉系専門学校などを立ち上げ、公務員試験対策講座などを開設。2002年に日本工業大学非常勤講師を経て現職。

所属学会など

日本教育心理学会
日本リメディアル教育学会
学習言語部会部会長
日本認知科学会
大学教育学会
日本カウンセリング学会
情報システム教育学会など

研究紹介

学習科学に関する研究



日本の大学で初めて大学生への日本語教育を実践したことがきっかけで、日本工業大学に came。その後、全国の大学で初年次教育・日本語教育を大学生に実施するようになりました。全国を行脚して「言語を教える」ということを話して回りました。

考える道具の日本語を見つめ直すことは意外に難しいものです。「問う力」も言語での理解の深さと広さがもとめられます。下はそんなエクササイズの一つです。

Try! 何がどう書いてあるのか、見やすくしてみると…

にゅーとんのうんどうのほうそくぶったいのうんどうにかんするきほんてきなほうそくだいいちほうそくせいしまたはいちようなちよくせんうんどうをするぶったいはちからがさようしないかぎりそのじょうたいをじぞくするかんせいのほうそくだいにほうそくぶったいのうんどうりょうのへんかはこれにはたらくちからのむきにおこりそのちからのおおきさにひれいするにゅーとんのうんどうほうていしきだいさんほうそくふたつのぶったいがたがいちからをおよぼしあうときにはこれらのちからはつねにおおきさがひとしくむきがはんたいであるさようはんさようのほうそく

学習言語と学修ポートフォリオ

教科や科目を学ぶための学習言語が習得されていると、自分の学修を客観的に振り返ることができるようになります。自分の学習特性を理解し、自分にあった学び方を身につけることができます。

JF03 教科学習を支える『学習言語』：生活言語から学習言語

たなか よしこ他 日本教育心理学会総会発表論文 55 S140-S141 2013年

学習者特性を診断・可視化するシステムの開発と評価

山川 広人, たなか よしこ, 他 教育システム情報学会誌 33(2) 104-109 2016年4月1日

考える道具としての言語教育のための資料（英語を使って考えることを目指す）

たなか よしこ
グローバル人材育成教育研究 5(1) 52-59 2017年

